

うんぴつ		
大単元名	小単元名	学習内容
01 うんぴつ 1	① まっすぐな せん	○縦横、折れる線、曲がる線などいろいろな線を書くことで、問題に答えたりひらがなを書いたりする準備を行う。
	② まがる せん	
	③ とめる せん	
	④ めり	
	⑤ せんと めり	
	⑥ いろいろな かたち	
	⑦ なぞって みよう	
	⑧ はねと はらい	

学習カリキュラムは、改訂することがあります。あらかじめご了承ください。

K1			
大単元名	小単元名	学習内容	
01 ひらがなを よもう 1	① よんでみよう 1	○ひらがな清音1字を読む。 ○似た字形のひらがなを区別して読む。	
	ていちゃくテスト1		
	② よんでみよう 2		
	ていちゃくテスト2		
	③ よんでみよう 3		
	ていちゃくテスト3		
	④ よんでみよう 4		
	ていちゃくテスト4		
	2		① よんでみよう 5
			ていちゃくテスト5
			② よんでみよう 6
			ていちゃくテスト6
02 ことばあつめ 3	① さいしょの もじ	○頭音に注意したり、文字をつなげて言葉を作ったりしながら、ひらがな清音2～3文字の言葉を読む練習をする。 ○ひらがな2～3文字の言葉を知る。 ○ひらがな2～3文字の言葉を読んだり、文字をつなげて言葉を作る。	
	ていちゃくテスト8		
	② ことばを あつめよう 1		
	ていちゃくテスト9		
	③ ことばを あつめよう 2		
	ていちゃくテスト10		

学習カリキュラムは、改訂することがあります。あらかじめご了承ください。

K2		
大単元名	小単元名	学習内容
01 ひらがなを かこう	① かく じゅんぴ	○とめ・はね・はらいの連筆を練習する。
	② かいてみよう 1	○とめ・はね・はらいに気をつけて、丁寧にひらがなを書く。
	ていやくテスト1	
	③ かいてみよう 2	
	ていやくテスト2	
	① かいてみよう 3	
	ていやくテスト3	
	② かいてみよう 4	
	ていやくテスト4	
	③ かいてみよう 5	
	ていやくテスト5	
	① かいてみよう 6	
ていやくテスト6		
② かいてみよう 7		
ていやくテスト7		
③ かいてみよう 8		
ていやくテスト8		
02 なかまの ことば	① なまえことば 1	○ひらがな清音2～5文字の言葉を書く。 ○身の回りにある名詞を、野菜、果物、動物、鳥などのなかまに分けて読む。
	ていやくテスト9	
	② なまえことば 2	
	ていやくテスト10	
	③ うごきことば	○ひらがな清音2～5文字の言葉を書く。 ○「たべる」「ねる」など、日常よく使う動詞を読んで意味を理解する。
	ていやくテスト11	
④ ようすことば	○ひらがな清音2～5文字の言葉を書く。 ○「大きい」「低い」など、日常よく使う形容詞を読んで意味を理解する。	
ていやくテスト12		
発展教材		

K3			
大単元名	小単元名	学習内容	
1	01 ひらがな	① 五十音 ② にごる 音 ③ 小さく かく かな 定着テスト1 ④ のばす 音 ⑤ そうごうもんだい 定着テスト2	○ひらがなを正しく書けるかを再確認する。 ○昔話や神話・伝承などを通して、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付く。 ○濁音・半濁音を理解し、正しく書けるようにする。 ○拗音・促音を理解し、正しく書けるようにする。 ○長音を理解し、正しく書けるようにする。 ○文脈(アクセント)による語の意味の違いなどに気付く。
	02 カタカナ(1)	① 五十音 ② にごる 音 ③ 小さく かく かな ④ のばす 音 定着テスト3	○カタカナを学び、基本的な読み・書きができるようになる。 ○カタカナで表記する言葉を読み、語彙をふやす。 ○カタカナで表記する言葉をイラストと合わせて学ぶ。 ○ひらがなとまぎらわしい言葉を理解する。 ○カタカナの濁音・半濁音を理解し、正しく書けるようにする。 ○カタカナの長音を理解し、正しく書けるようにする。 ○カタカナの拗音・促音を理解し、正しく書けるようにする。
	03 文をつくる・文のかたち	① 「は」「を」「へ」の つかいかた ② 「なにが」「どうする」 ③ 「なにが」「どうした」 定着テスト4 ④ 「なにが」「どんなだ」 ⑤ 「なにが」「なんだ」 定着テスト5	○表記の中で、最も間違えやすい助詞「は」「を」「へ」の使い方を学ぶ。 ○文の基本構造である主語・述語の関係を、段階的に学ぶ。 ○主語・述語がそろった文を作ることによって表現力の基礎を養う。
	04 文しょうをよむ(1)	① 「なにが」「どうする」 ② 「なにが」「どんなだ」 ③ 「なにが」「なんだ」 定着テスト6	○短い文章を読み「だれが」「どうした」の把握を繰り返し行うことで、話の要点をつかむ力を身につける。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙をゆたかにする。 ○文章を読むときにも主語と述語の適切な係り受けについて意識する。 ○敬体で書かれた文章に慣れる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○上位語・下位語・対義語を意識する。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○第3分冊で学習した「何がどうする」「何がどんなだ」「何がなんだ」の文型を活用して読解する。
	05 さく文(1)	① 「なにが」「どうする(どうした)」をふまえて書く ② 「なにが」「どんなだ」をふまえて書く ③ 「なにが」「なんだ」をふまえて書く 定着テスト7	○主語・述語が整った文を書く。 ○文の中の助詞「は」「を」「へ」の使い方を学ぶ。 ○模範となる文章をみながら、なぞりや空欄補充で表現する練習をし、文章のまとめ方を身につける。 ○いくつかの文をつなげて文章にすることで、長い文章が書ける実感を持ち、表現への意欲を養う。 ○身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きたことを書く。 ○語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。
5	06 かん字(1)	① かんすう字と ものの かぞえかた ② かん字の できかた 定着テスト8	○身近な言葉から漢字を覚える。また、「字形」「読み方」など、さまざまな切り口から漢字を学ぶ。 ○一つの漢字をいろいろな語句や文例のなかで覚える。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。
	07 カタカナ(2)	① カタカナで かく ことば 定着テスト9	○カタカナで書く語がどのような種類の語であるかを知り、実際に文や文章の中でカタカナを使う。 ○擬声語を理解する。
6	08 くわしく する ことば	① 「どんな」 ② 「どのように」 ③ 「～に」「～を」「いつ」「どこで」 定着テスト10	○語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○主語・述語に修飾語として時間や事柄の順序を表す語を加えることで、文が分かりやすくなることを理解する。 ○主語・述語に修飾語として様子や目的を表す語を加えることで、文が分かりやすくなることを理解する。
	09 かん字(2)	① にて いる かん字 ② おなじ かたちを もつ かん字 ③ なかまの かん字 ④ かん字の よみ方 ⑤ 正しい ひつじゆん 定着テスト11	○漢字の字形と具体的な事物(実物や絵など)とを結び付けるなどの指導を工夫し、漢字が表意文字であることを意識しながら、漢字に対する興味や関心を高められるようにする。
7	10 文しょうをよむ(2)	① どんな ようす? ② どんな 気持ち? ③ せつめいの じゆんじよ ④ どう ちがう ⑤ わかった こと 定着テスト12	○文章を読むときにも主語と述語の適切な係り受けについて意識できるようにする。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○主語・述語に修飾語として様子や目的を表す語を加えることで、文が分かりやすくなることを理解する。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。
	11 さく文(2)	① 「は」「を」「へ」の つかいかた ② ようすを くわしく かく ③ 「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」 ④ おはなしを つくる 定着テスト13	○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。
8	12 かん字の学しゆう	① あたらしく ならう かん字 1 定着テスト14 ② あたらしく ならう かん字 2 定着テスト15 ③ あたらしく ならう かん字 3 定着テスト16 ④ あたらしく ならう かん字 4 定着テスト17 ⑤ そうごうもんだい	○第一学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う習慣を身につけるようにする。

発展教材

国語 学習カリキュラム

※お子さまに最適な学習カリキュラムを提供するため、学習カリキュラムの進度は、お子さまにより異なります。

K4			
大単元名	小単元名	学習内容	
1	01 主語とじゅつ語・ものがたり(1)	<ul style="list-style-type: none"> ① 主語とじゅつ語の文 定着テスト1 ② 「だれが」「どうした」をつかむ 定着テスト2 	<ul style="list-style-type: none"> ○文の基本構造である主語・述語を理解する。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○人物の言動に注意しながら物語を読む。 ○主語・述語を意識しながら物語の展開を追うことで、読解力の基礎を身につける。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙をゆたかにする。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。
	02 カタカナ・詩(1)	<ul style="list-style-type: none"> ① カタカナで書くことば 定着テスト3 ② 詩のようすを思いうかべる 定着テスト4 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもにとって身近な言葉を使い、対義語・類義語の基礎を学ぶ。 ○カタカナで書く擬声語や外来語を学ぶ。 ○詩の概要を把握する。
	03 ことばの意味・せつめい文(1)	<ul style="list-style-type: none"> ① いた意味のことば ② ほんたいの意味のことば ③ ほんたいの内ようをつかむ 定着テスト5 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙をゆたかにする。 ○文章を読むときにも主語と述語の適切な係り受けについて意識できるようにする。 ○敬体で書かれた文章に慣れる。語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選り出す。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。
	04 くわしくすることば・ものがたり(2)	<ul style="list-style-type: none"> ① 文をくわしくすることば 定着テスト6 ② お話の じゅんじよをつかむ 定着テスト7 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙をゆたかにする。 ○時の移り変わりに気を付けて物語を読む。 ○文章を読むときにも主語と述語の適切な係り受けについて意識できるようにする。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。
3	05 書きじゅんと画数・おくりがな	<ul style="list-style-type: none"> ① 漢字の書きじゅんと画数 ② 漢字の読み方とおくりがな 定着テスト8 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の書き順のルールと、画の教え方を理解する。 ○漢字の画数を正しく身につける。 ○漢字の正しい使い方を理解する。
	06 作文(1)	<ul style="list-style-type: none"> ① 「丸、点、かぎ」の使い方・みんなに知らせる ② 日記・手紙を書く 定着テスト9 	<ul style="list-style-type: none"> ○主語・述語が整った文を書く。 ○助詞の「は」、「へ」及び「を」について、繰り返し指導することによって、文の中で使えるようにする。 ○語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きたことを書く。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ○正しい句読点、かぎの使い方を身につける。
4	07 せつめい文(2)	<ul style="list-style-type: none"> ① ことがらの理由をつかむ ② ことがらのじゅんじよをつかむ 定着テスト10 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙をゆたかにする。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○文章を読むときにも主語と述語の適切な係り受けについて意識できるようにする。 ○敬体で書かれた文章に慣れる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選り出す。
	08 音やようすを表すことば・詩(2)	<ul style="list-style-type: none"> ① 音やようすを表すことば ② 思いうかべたことをことばにする 定着テスト11 	<ul style="list-style-type: none"> ○擬声語・擬態語のニュアンスを体験する。 ○詩の間接表現に触れる。 ○擬声語と擬態語を区別する。 ○清音・濁音・半濁音のニュアンスの違いを酌んで擬声語を使い分ける。
5	09 漢字の組み立て	<ul style="list-style-type: none"> ① 漢字の組み立て 定着テスト12 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字には同じ部分を持つものがあることに気づき、漢字の組み立てのパターンを知ること、漢字の定着を図る。
	10 ものがたり(3)	<ul style="list-style-type: none"> ① 登場人物の気もちを読みとる 定着テスト13 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙をゆたかにする。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。
6	11 組・なかまの漢字・漢字の読み方	<ul style="list-style-type: none"> ① 組になる漢字・なかまの漢字 ② 同じ読み方の漢字・たくさん読み方のある漢字 定着テスト14 	<ul style="list-style-type: none"> ○「組／なかま」という切り口で漢字を整理し、学習した漢字の定着を図る。 ○同じ読み方の漢字を、意味に注意して書き分けられるようにする。
	12 なかまのことば・せつめい文(3)	<ul style="list-style-type: none"> ① なかまのことば ② 大事なことを読みとる 定着テスト15 	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙と語彙の関係を理解できるようにする。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙をゆたかにする。 ○文章を読むときにも主語と述語の適切な係り受けについて意識できるようにする。 ○敬体で書かれた文章に慣れる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選り出す。
7	13 組み合わせたことば	<ul style="list-style-type: none"> ① 組み合わせたことば 定着テスト16 	<ul style="list-style-type: none"> ○「組み合わせた言葉(複合語)」という切り口で語彙を増やす。 ○言葉を組み合わせるときに生じる読み方の変化にも注意しながら言葉を覚える。
	14 さく文(2)	<ul style="list-style-type: none"> ① 主語とじゅつ語・くわしくすることば ② 思い出や手紙を書く 定着テスト17 	<ul style="list-style-type: none"> ○主語・述語が整った文を書く。 ○語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり、確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ○日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。
8	15 漢字の学習	<ul style="list-style-type: none"> ① 新しく習う漢字1 定着テスト18 ② 新しく習う漢字2 定着テスト19 ③ 新しく習う漢字3 定着テスト20 ④ 新しく習う漢字4 定着テスト21 ⑤ 新しく習う漢字5 定着テスト22 ⑥ 新しく習う漢字6 定着テスト23 	<ul style="list-style-type: none"> ○第二学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う習慣を身につけるようにする。

発展教材

学習カリキュラムは、改訂することがあります。あらかじめご了承ください。

国語 学習カリキュラム

※お子さまに最適な学習カリキュラムを提供するため、学習カリキュラムの進度は、お子さまにより異なります。

K5			
大単元名	小単元名	学習内容	
1	01 修飾語・説明文(1)	① 修飾語 定着テスト1 ② 書かれてある内ようをとらえる 定着テスト2	○主語と述語が照応することの大切さについての理解を深めるとともに、修飾語がどこに係るのかという修飾と被修飾との関係にも気を付けて、文の構成を理解する。 ○文の主語になる語句、述語になる語句、修飾する語句など役割による語句のまとまりがあることを理解する。 ○目的を意識して、中心となる語や文を見付ける。 ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係を意識し、内容を正確につかむ。
	02 漢字の音と訓	① 漢字の音と訓 定着テスト3	○漢字の音読みと訓読みを理解する。
2	03 形の変わる言葉	① 動きを表す言葉 ② 様子を表す言葉 定着テスト4	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにする。 ○様々な語句を、その特徴や使い方によって類別して捉える。 ○動きを表す語句や、様子を表す語句など性質による語句のまとまりがあることを理解する。
	04 物語(1)	① 「だれが」「どうした」のかを読み取る 定着テスト5	○場面を表す要素に触れ整理する力をつける。
3	05 詩(1)	① 言葉遊びを楽しむ 定着テスト6	○回文・アナグラム・しゃれ・しりとりなどに触れ、言葉の面白さに触れる。 ○基本的な表現技法が使われている詩のほか、視覚的な工夫がされている詩に触れる。
	06 文の組立て	① 文の組立て 定着テスト7	○文の組み立てを理解し、読み書きに役立てる。
4	07 表げん(1)	① しょうかいする文章を書く ② 道案内する文章を書く ③ ほうこくする文章を書く 定着テスト8	○読む人の立場を考え、わかりやすい文章を書くよう努める。
	08 漢字の部首	① 形のにている漢字 ② 漢字の部首 定着テスト9	○形の似ている漢字を正確にとらえる。 ○部首を考えることによって漢字の意味を理解する。
5	09 似た意味の言葉	① 似た意味の言葉 定着テスト10	○似た意味の言葉を集めたり、文例に合わせてそれらの言葉を使い分けたりすることで表現の幅を広げる。
	10 物語(2)	① 場面を豊かにイメージする 定着テスト11	○場面から心情へのイメージの広がりを養う。
6	11 ローマ字	① ローマ字の読み書き ② ローマ字の入力 定着テスト12	○身近な使用例をもとにローマ字に親しむ。 ○基本的なローマ字の書き方を理解する。 ○パソコンでの文章作成のための入力にチャレンジする。
	12 こそあど言葉・説明文(2)	① こそあど言葉を使い分ける ② 指している内ようを読み取る ③ まとまりごとに大事なことを読み取る 定着テスト13	○こそあど言葉の使い方の基本を身につける。 ○それぞれ何を指しているのかを、正しく使い分けられるようにする。 ○段落の要点をおさえながら説明文を読む。
7	13 じゅく語	① 二字じゅくご 定着テスト14	○漢字の意味を考えながら熟語の構成を理解する。
	14 故事成語・ことわざ	① 故事成語 ② ことわざ 定着テスト15	○故事成語とはどのようなものかを知る。 ○ことわざとはどのようなものかを知る。 ○故事成語・ことわざの成り立ち、意味、使い方に触れる。
8	15 つなぎ言葉・説明文(3)	① つなぎ言葉 ② だん落とだん落のつながりをとらえる 定着テスト16	○接続語が、言葉と言葉、文と文をつなぐことを理解する。 ○段落と段落のつながりをとらえ、書き手の言いたいことにせまる。
	16 同じ読み方の漢字	① 漢字を使い分ける 定着テスト17	○同じ読み方の漢字でも、使い方に違いがあることを理解する。
9	17 物語(3)	① 登場人物の気持ち・気持ちのうつり変わりを読み取る ② 登場人物の性格を読み取る 定着テスト18	○心情を表す言葉や登場人物の会話に注意して物語を読む。
	18 詩(2)	① 情景を想ぞうする 定着テスト19	○イメージを広げて詩の内容にせまる。
10	19 表げん(2)	① 気持ちを伝えたい文章を書く ② 想ぞうして書く 定着テスト20	○手紙をはじめとして、相手に自分の気持ちを伝えるための基本を学ぶ。 ○自分の考えを相手に伝わるように工夫して書く。
	20 漢字の学習	① 新しく習う漢字1 定着テスト21 ② 新しく習う漢字2 定着テスト22 ③ 新しく習う漢字3 定着テスト23 ④ 新しく習う漢字4 定着テスト24 ⑤ 新しく習う漢字5 定着テスト25 ⑥ 新しく習う漢字6 定着テスト26 ⑦ 新しく習う漢字7 定着テスト27 ⑧ 新しく習う漢字8 定着テスト28 ⑨ 新しく習う漢字9 定着テスト29 ⑩ 新しく習う漢字10 定着テスト30	○第三学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う習慣を身に付けるようにする。

発展教材

学習カリキュラムは、改訂することがあります。あらかじめご了承ください。

国語 学習カリキュラム

※お子さまに最適な学習カリキュラムを提供するため、学習カリキュラムの進度は、お子さまにより異なります。

K6		
大単元名	小単元名	学習内容
A	01.ことわざ	① ことわざにふれる ○日常生活で使われることわざや故事成語の意味・用法を学ぶ。 ◎文章や会話の中でことわざや故事成語を使いこなす。
	02.物語①	① 物語のあらすじをとらえる(1)
		② 物語のあらすじをとらえる(2)
③ 物語のあらすじをとらえる(3)		
定着テスト1「ことわざ/物語①」		
B	03.符号・手紙の書き方	① 符号の使い方を覚える ○句点(。)、読点(、)、かぎ(「」)などの符号の正しい使い方を身につける。 ○「宛名」の位置、「初め(終わり)のあいさつ」「後付け」など、手紙の基本的な書き方を学ぶ。
		② 手紙のきまり
		③ 手紙の種類
04.漢字とふれ合う	① 漢字のおもしろさを味わう ○学習してきた漢字を確認し、漢字の知識を整理する。 ○部首、総画数、音読みと訓読みなどの知識を身につける。	
定着テスト2「符号・手紙の書き方/漢字とふれ合う」		
C	05.多義語	① いろいろな意味をもつ言葉 ○同じ言葉でも意味が異なることを理解する。 ◎文例によって多義語を使い分ける。
	06.説明文①	① だん落ごとの内容をとらえる(1)
		② だん落ごとの内容をとらえる(2)
③ だん落ごとの内容をとらえる(3)		
定着テスト3「多義語/説明文①」		
07.詩・俳句・短歌	① 詩を味わう ○詩の表現を味わうとともに、多様な視点や感じ方を学ぶ。 ○俳句と短歌の形式や表現方法を学ぶ。	
	② 俳句や短歌を味わう	
	08.送りがな	① 送りがなの書き分け(1) ② 送りがなの書き分け(2) ◎送りがなによって漢字の読み方や意味が変わることを理解する。
定着テスト4「詩・俳句・短歌/送りがな」		
D	09.修飾語・物語②	① 文の組み立て ○主語・述語・修飾語のはたらきを知り、文の基本的な構成を理解する。 ○連体修飾語(どんな〜何)、連用修飾語(どのように〜どうする)の違いを学ぶ。 ◎情景や心情的描写に注目し、場面ごとの様子をつかむ。
		② 修飾語
		③ 場面ごとの様子をつかむ(1)
④ 場面ごとの様子をつかむ(2)		
定着テスト5「修飾語・物語②」		
10.文章の組み立て	① 文章の組み立て方を知る(1)	○「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識した文章の組み立て方を学ぶ。 ○読書感想文、本の紹介文などに書くべき内容(好きな理由、あらすじなど)や、書く順序を学ぶ。
	② 文章の組み立て方を知る(2)	
11.図表	① 表や図から読み取る ○さまざまな表や図から、必要な情報を読み取る。	
定着テスト6「文章の組み立て/図表」		
E	12.接続語・説明文②	① 接続語を理解する ○接続語のはたらきを理解し、前後の文のつながりに応じて使い分ける。 ○指示語や接続語に注意して、各段落の要点をつかむ。 ◎文章全体の構成を理解し、筆者の考えを読み取る。
		② だん落とだん落の関係をつかむ(1)
		③ だん落とだん落の関係をつかむ(2)
定着テスト7「接続語・説明文②」		
13.じゆく語	① じゆく語のつくり ○熟語の構成を理解する。 ○「川原」「時計」など、特別な読み方をする熟語を学ぶ。	
F	14.慣用句・物語③	① 慣用句にふれる ○日常生活で使われる慣用句の意味を知り、表現の幅を広げる。 ○登場人物の性格を、会話や行動に注意して読み取る。 ◎場面や状況の変化が、登場人物の気持ちにどんな影響を与えているかを読み取る。
		② 人物の気持ちを読み取る(1)
		③ 人物の気持ちを読み取る(2)
定着テスト8「じゆく語/慣用句・物語③」		
15.ていねいな言葉	① ていねいな言葉の使い方 ○敬語の種類(尊敬語、謙讓語、丁寧語)と役割を理解する。 ◎自分と相手の関係や、場面に応じて、敬語を使い分ける。	
G	16.説明文③	① 文章全体の内容をつかむ(1)
		② 文章全体の内容をつかむ(2)
		③ 文章全体の内容をつかむ(3)
定着テスト9「ていねいな言葉/説明文③」		
17.物語④	① 気持ちの移り変わりを読み取る(1)	○各場面における登場人物の気持ちを読み取り、物語の展開とともに、どう変化しているかをとらえる。 ◎文章中の表現から、登場人物の気持ちが変わった理由や原因を正しくつかむ。
	② 気持ちの移り変わりを読み取る(2)	
	③ 気持ちの移り変わりを読み取る(3)	
定着テスト10「物語④」		

学習カリキュラムは、改訂することがあります。あらかじめご了承ください。

K7			
大単元名	小単元名	学習内容	
A	01.漢字の成り立ち	① 漢字の由来に興味をもつ ○漢字の成り立ち(由来)に興味をもつ。 ○漢字の成り立ちは、大きく分けて、象形文字・指事文字・会意文字・形声文字の4つがあることを理解する。	
	02.物語①	① 場面ごとの様子を読み取る ○時・場所・登場人物・できごとに注意し、場面ごとの様子を読み取る。 ○慣用句・比喩・表現に着目し、場面ごとの様子や、場面の展開を理解する。 ◎民話特有の表現を理解する。	
		② 場面の展開を読み取る(1)	
		③ 場面の展開を読み取る(2)	
	定着テスト1「漢字の成り立ち/物語①」		
	03.仮名づかい・複合語	① 仮名づかいのきまり ○仮名づかいのきまりを整理し、言葉や文を正しく書く。 ○複合語の組み合わせり方や、きまりを理解し、言葉の感覚を養う。	
		② 複合語	
	04.詩・短歌・俳句	① 詩を味わう ○詩のさまざまな表現やリズムに親しみ、情景や作者の気持ちをとらえる。 ○短歌の形式を知り、表現の効果を学ぶ。 ○短歌の成り立ちを知る。 ○季語と季節をとらえ、俳句の情景を読み取る。	
		② 短歌を味わう	
		③ 俳句を味わう	
定着テスト2「仮名づかい・複合語/詩・短歌・俳句」			
B	05.文の組み立て・説明文①	① 文の組み立て ○主語・述語・修飾語のはたらきを知り、文の基本的な構成を理解する。 ○主語と述語が二組ある文、主語と述語が省略された文の型を理解する。 ○各段落の内容を的確に読み取る。 ○各段落の内容を理解したうえで、説明文の要旨をとらえる。	
		② 段落ごとの内容をつかむ	
		③ 文章の要旨をとらえる(1)	
		④ 文章の要旨をとらえる(2)	
	定着テスト3「文の組み立て・説明文①」		
06.言葉の由来・古典	① 和語・漢語・外来語 ○言葉の種類と由来に興味をもつ。 ○言葉には和語・漢語・外来語の三つの種類があることを知る。 ○複合語の組み合わせを理解する。 ○文語の物語や随筆、狂言などにふれ、古典特有の表現や情感を読み味わう。		
	② 古典に親しむ(1)		
	③ 古典に親しむ(2)		
定着テスト4「言葉の由来・古典」			
C	07.言葉のきまり①・物語②	① 名詞・動詞 ○名詞・動詞のはたらきを知る。 ○形容詞・形容動詞のはたらきを知る。 ○登場人物の動作や表情、気持ちを表す言葉に注目し、気持ちを読み取る。 ◎登場人物の気持ちの移り変わりの理由、原因を表現のなから正しくつかむ。	
		② 形容詞・形容動詞	
		③ 人物の気持ちを読み取る	
		④ 気持ちの移り変わりを読み取る	
	定着テスト5「言葉のきまり①・物語②」		
08.対義語と類義語・説明文②	① 対義語・類義語 ○さまざまな対義語・類義語を学び、それぞれの使い分けを知るとともに、語彙力を高める。 ○指示語や接続語をもとに、段落どうしのつながりをとらえる。 ◎形式段落・意味段落について学習し、文章の構成を意識する。		
	② 段落のつながりを読み取る		
	③ 文章の構成をつかむ		
定着テスト6「対義語と類義語・説明文②」			
09.情報の活用	① 情報を伝えるくふう ○情報を正確に伝えるために、より分かりやすい(効果的な)表現を考える。 ○さまざまな表や図から必要な情報を読み取る。 ○条件設定に応じて、結論と理由を結びつける。		
	② 情報を読み取る		
定着テスト7「情報の活用」			
D	10.言葉のきまり②・伝記	① きまった言いまわし ○言葉の結びつきに着目し、副詞のはたらきと使い方を理解する。 ○文末にある言葉に注目し、その言葉のはたらきを理解する。 ○伝記を通して、人物の考え方や生き方に興味をもつ。 ○人物が何を成しとげ、どのような点で評価されているのかを具体的に知る。	
		② 文末表現	
		③ 人物の考えや生き方をとらえる	
定着テスト8「言葉のきまり②・伝記」			
E	11.説明文③	① 生き物について読む ○生活・環境・文化など多分野の説明文を読み、視野を広げる。 ◎説明文①②の学習を活かし、説明文を読み解く。 ○説明文の内容をふまえて、説明文に対するさまざまな意見とその根拠を読み解く。	
		② 文化について読む	
		③ 言葉について読む	
		④ 説明文をもとに考える	
定着テスト9「説明文③」			
12.漢字の使い方	① 読みが同じ漢字の使い分け ○漢字の意味に興味をもち、場面に応じて適切に使い分ける。 ○同音異義語と同音異字・同訓異字について理解する。 ○熟語の構成と熟字訓について理解する。		
	② 熟語の構成		
13.物語③	① 作者の意図をとらえる ◎物語①②の学習を活かし、物語の内容をより深く読み解く。 ○物語の内容をふまえて、物語に対するさまざまな意見とその根拠を読み解く。		
	② 物事を多角的にとらえる		
	③ 人物像をとらえる		
	④ 物語を読み深める		
定着テスト10「漢字の使い方/物語③」			

K8			
大単元名	小単元名	学習内容	
A	01.文の構成	① 文と文節 ○「文」と「文節」、「単語」の違いを理解する。 ◎10品詞の分類方法を知り、品詞ごとの特徴を理解する。	
		② 言葉の分類	
	02.文の組み立て	① 主語・述語・修飾語 ○主語・述語・修飾語が、文の中でそれぞれどのようなはたらきをしているのかを理解する。	
		② 物語の場面を読み取る ○主語・述語・修飾語を意識し、文や文章の内容を正しく把握する。	
		③ 説明文の内容を読み取る	
	定着テスト1「文の構成／文の組み立て」		
	03.説明文	① 指示語・接続語に着目する ○説明文の特徴と読解方法を知る。 ○指示語・接続語が文章の中でどのような役割を果たすのかを理解し、その使い方を身につける。	
		② 重要語句・中心文・要点 ○話題、重要語句、中心文を意識し、段落ごとに中心となる内容を読み取る。 ◎各段落の要点を整理し、文章全体の要点を読み取る。	
	04.送りがな	① 送りがなのきまり ○言葉の分類（動詞、形容詞など）ごとに、送りがなの基本的なきまりを覚える。	
		定着テスト2「説明文／送りがな」	
05.俳句・短歌・古典	① 俳句を味わう ○俳句・短歌の特徴をおさえ、情景を想像する。		
	② 短歌を味わう ◎俳句や短歌にこめられた作者の気持ちを読み取る。		
	③ 古典を味わう ○代表的な古典作品を味わう。 ○古典独特の言い回し、言葉づかいに触れる。		
06.詩	① 詩を味わう ○詩の分類を知る。		
	② 詩と鑑賞文を読む ○表現技法とその効果をおさえながら、主題を読み取る。 ○作品が生まれた背景に興味をもつ。		
定着テスト3「俳句・短歌・古典／詩」			
07.慣用表現	① 慣用句の意味をとらえる ○慣用句やことわざの意味・用法を学ぶ。		
	② ことわざの意味をとらえる ○語彙を増やし、表現の幅を広げるとともに、文章読解に活かす。		
08.物語①	① できごとと心情の関係 ○できごと、動作・様子・表情などから登場人物の心情を読み取る。		
	② 人物像をとらえる ○できごと、動作・様子・表情などから登場人物の性格を読み取る。		
	③ 理由を整理する ○登場人物どうしの関係や、因果関係を整理する。 ◎登場人物の心情や性格に注目し、物語の展開を読み取る。		
定着テスト4「慣用表現／物語①」			
09.論説文	① 筆者の意見と理由 ○論説文の特徴と読解方法を知る。		
	② 具体例と筆者の意図 ○因果関係を表す接続語に注目し、「理由」をとらえることで、筆者の意見を正しく理解する。		
	③ 対照的な内容 ○具体例と筆者の意見や考え（抽象的なまとめ）を読み分ける。		
	④ 似た内容 ○接続語や対義語・類義語に注目し、対照的な内容・似た内容をおさえることで、筆者の意見をとらえる。		
10.敬語	① 敬語の種類 ○敬語の種類（尊敬語、謙譲語、丁寧語）と役割を理解する。		
	② 敬語の使い分け ○動作の主体に注目し、根拠をもって敬語を使い分ける。 ◎自分と相手との関係や場面に応じて、尊敬語、謙譲語、丁寧語を適切に使い分ける。		
定着テスト5「論説文／敬語」			
11.漢詩・漢文	① 故事成語 ○故事成語の成り立ちを知る。		
	② 漢詩・漢文を味わう ○代表的な漢詩・漢文（論語）を味わう。 ◎漢詩にこめられた作者の気持ちや情景を読み取る。		
12.漢字の意味	① 漢字の部首と意味 ○おもな部首の名前や意味を学ぶ。 ○漢字の部首に注目し、漢字のもつ意味を理解する。		
	定着テスト6「漢詩・漢文／漢字の意味」		
13.随筆	① 事実と意見・感想 ○随筆の特徴と読解方法を知る。 ○事実と意見・感想を読み分ける。		
	② 表現のくふうを知る ○筆者や作品によって異なる、独特の言い回しや表現のくふうの意図を考え、筆者の意見を読み取る。		
14.文章表現	① 表現をくふうする ○さまざまな表現技法の効果を理解する。 ◎表現技法の効果を考え、文を書きかえる。		
	定着テスト7「随筆／文章表現」		
15.熟語	① 熟語の構成 ○熟語の構成を理解する。 ○特別な意味をもつ四字熟語の意味・用法を学ぶ。		
	② 四字熟語		
16.物語②	① 暗示・象徴の役割と効果 ○暗示・象徴の役割と効果を理解する。 ◎情景描写や登場人物の心情の変化などから、主題を読み取る。		
	② 主題をとらえる		
定着テスト8「熟語／物語②」			
17.助動詞・助詞	① 助動詞 ○助詞・助動詞のはたらきを知る。 ◎単語のはたらきを理解し、伝えたい内容にあわせて文を書きかえる。		
	② 助詞		
定着テスト9「助動詞・助詞」			
18.活用	① 資料の読み取り ○さまざまな表や図から必要な情報を読み取る。 ○条件設定に応じて、情報を組み合わせる。		
	② 説明文をもとに考える ○物語の内容をふまえて、物語に対するさまざまな意見とその根拠を読み解く。 ○説明文の内容をふまえて、説明文に対するさまざまな意見とその根拠を読み解く。		
	③ 物語を読み深める		
定着テスト10「活用」			